アップライトバイク（家庭用） DK-8507

取扱説明書

このたびは アップライトバイク（家庭用） DK-8507 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

◎まず、本説明書を最後までお読みください。

内容を十分ご理解いただいた上で正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

◎ 本書巻末に「保証書」がついていますので、配送業者の送り状伝票とともに大切に保管してください。

◎ 本機は家庭用※として軽頻度の運動向けに開発・設計しています。

※設計上、トレーニングジム・介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備の使用は想定していません。保証の期間・内容に影響しますので予めご理解くださいますようお願い申し上げます。

◎ 改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承ください。

安全上の注意

取扱説明書の「注意」及び「警告」の内容は、危険のレベルによって２段階に別れています。記載の内容をご理解いただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警 告　**誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容**

注 意　**誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容**

警 告

1) 機器を組み立てて使用する前に、取扱説明書の内容をすべてお読みいただくことが非常に重要です。機器を正しく設置し、維持し、使用するだけで、安全にトレーニング効果が得られます。
2) 使用者が投薬を受けており、治療が心拍数、血圧、およびコレステロールレベルに影響を与える場合、健康や安全性に基づいて医師に相談してから運動に臨んでください。
3) 一般的なトレーニングの際、頭痛、胸の圧迫感、不整脈、息切れ、眩暈（めまい）、吐き気の傾向がある方は、事前に体調ならびに機器の状態を医者が点検し、トレーニングを続けるのに障害がないことを確認した場合にのみご利用ください。
4) 無理をせず、軽いトレーニングから開始してください。急激な運動は体に負荷を与えますので、少しでも異常を感じたら運動を中止して医師にご相談ください。
5) お子様が本機で遊ばないようにしてください。また、使用中はお子様が近づかないようにしてください。お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけてください。
6) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方など（心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカ・人工心肺装着の方等々)がご使用の場合、かかりつけの医師にご相談ください。
7) 機器を平らな場所に置いて使用し、床やカーペットの表面の損傷を防ぐために保護マットを敷いてください。安全のために、訓練機器と障害物の距離は 0.5 メートル以上離してください。
8) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、ネジ・ボルト等の緩みがないか、使用前に点検してください。
9) 本機を分解・改造しないでください。内部点検や修理をする際には当社までご相談ください。同時に組み立てやメンテナンスのプロセスでノイズが聞こえた場合、また欠陥部品を見つけた場合は当社までご連絡ください。
10) 乗降する場合には、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押したり、引いたりしないでください。運動の妨げとなり且つ安全性を損ないケガをする場合があります。
11) 同時に２人以上で乗らないでください。人間以外の動物・物を載せないでください。

注 意

使用上の注意事項

1）トレーニングの前後にストレッチ（準備体操）を行ってください。（トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行う習慣をつけましょう。
2）食後のトレーニングは差し控えてください。（本来胃に流れるべき血液が流れにくくなり、消化に影響を与えます）食後２時間位あけてトレーニングをしてください。
3）本機ご使用の時は運動靴を履き、駆動部に巻き込まれる恐れのない（紐等のない）服装でご使用ください。
4）正しい使用方法以外でのトレーニングはおやめください。
5）本機は家庭用のトレーニング機器として開発しています。それ以外の用途で使用なさらないでください。
6）異物を製品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります。
7）体重 **100**Kg を超える方はご使用にならないでください。

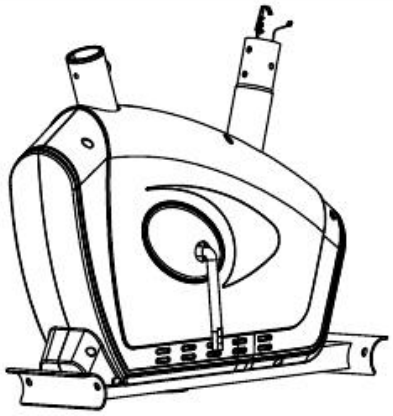
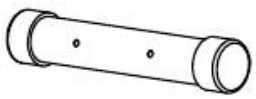
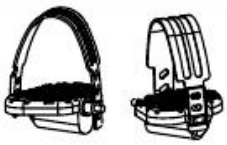
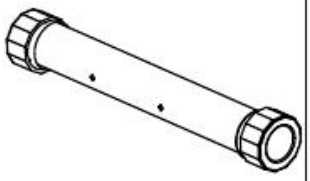
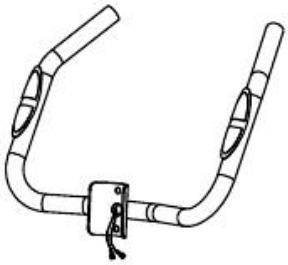
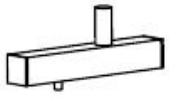
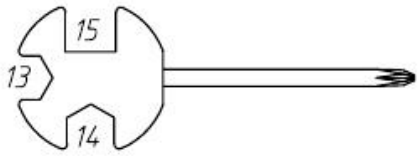
保管上の注意事項

1) 幼児が触らないよう安全に管理してください。
2) ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認してください。
3) 使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置してください。
4) 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、整理整頓してからご使用ください。
5) 組立ての際に、床を傷つける場合があります。布やカーペットなどを敷くなど、養生で床を保護してください。
6) 本機ご使用にあたっては、床保護を目的にマットの使用をお薦めします。
7) 本機を廃棄する場合は、各自治体の推奨する方法に従って処理してください。
8) 次の場所に設置、保管しないでください。（サビの発生、負荷の調節不調、メーター等の故障　の原因となります）
・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
・屋外の設備や浴室付近等の湿気の多い場所　・磁気や電気的雑音の発生しやすいものの近く

仕様

品名	アップライトバイク（家庭用）	パネル仕様/使用電源	LCD パネル/電池式
品番	DK-8507	負荷調整	マグネット（手動８段階）
材質構造	スチールパイプ・ABC 樹脂・ウレタン等	耐荷重	100kg
目標設定	時間/距離/カロリー	適応身長	約 150-180cm
心拍測定	ハンドグリップ式		
メーター/表示	時間/速度/距離/カロリー/ 心拍/総距離	座席調整	スライド：前後約７cm 床からの高さ： 約 78-98 cm（８段階）
使用用途	家庭用フィットネスバイク	連続使用時間	60 分
製品重量	24kg	本体サイズ	49×93×134cm
梱包重量	27kg	梱包サイズ	28×84×61cm
パネル電池	単四電池ｘ２個（マンガン推奨）	移動用キャスター	有り

主要なパーツ

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">  </td><td>  </td><td>  </td></tr>
<tr><td>2#フロントスタンド</td><td>7#ペダル（L/R）</td></tr>
<tr><td colspan="2">1#本体</td><td>  </td><td> </td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>3#リアスタンド</td><td>8#サドル</td></tr>
<tr><td rowspan="2"> </td><td>  </td><td rowspan="3"> </td><td>  </td></tr>
<tr><td>16#ハンドル</td><td>9#サドルチューブ</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td> </td><td rowspan="2"> </td></tr>
<tr><td>14#ポスト</td><td>11#平ワッシャ</td><td>10#サドルフレーム</td><td>18#パネル</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td colspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>12~13#ノブボルト</td><td>サンプル工具</td><td colspan="2">サンプル工具</td></tr>
</table>

ワンポイント

※主要なパーツのみ掲載しています。部品の全体は次の一覧表にてご確認ください。

部品の一覧表

ワンポイント

※前述の主要なパーツに仮止めされている部品があります。それらの部品を含めて下記一覧に記載しています。
Step1～順番に進めながらご確認ください。

No,	名称	数量	No,	名称	数量
1	#本体	1	11	#平ワッシャ	1
2	#フロントスタンド	1	12	#サドル用ノブボルト	1
3	#リアスタンド	1	13	#大きなノブボルト	1
4	#M8x74 ボルト	4	14	#ポスト	1
5	#亀ワッシャ	10	15	#M8x16 ボルト	6
6	#M8 キャップナット	4	16	#ハンドル	1
7	#ペダル（L/R）	2	17	#スプリングワッシャ	2
8	#サドル	1	18	#パネル	1
9	#サドルチューブ	2	19	#パネル用ネジ	4
10	#サドルフレーム	1	20		

組立手順

■組立を始める前のご注意

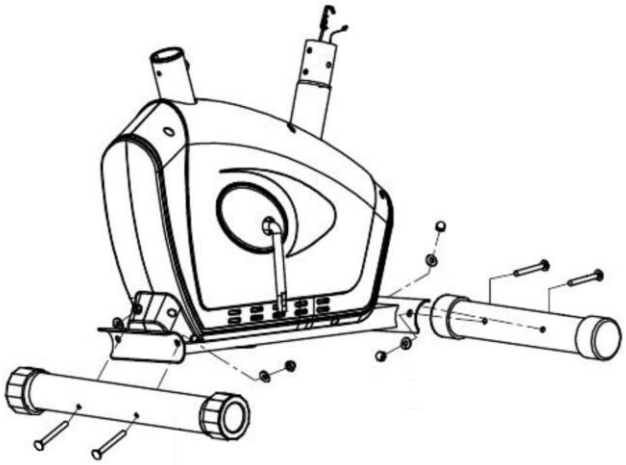
・開梱及び組立は、できるだけ２名以上で行ってください。
・広い場所を確保した上で作業してください。
・作業をする前に、部品と必要な道具が全部揃っているかを確認してください。
・本機を箱から出す場合、天地（上下）に注意して開梱し本体が床面と水平になる状態で組立を行ってください。
・組立時、ボルトは仮締めにして、全体が組み上がってから増し締めしてください。
・Step 1 から順番に組み立ててください。各パーツに、ボルト類が仮止めされている場合がある為です。尚、出荷時点で仮止めしたボルト類が、欠落しているケースが散見されます。梱包の内側もご確認くださいますようお願い致します。
・本体に仮止めしてあるネジ類を外す必要がある場合は、その部位の作業工程の直前に外してください。先に外してしまうと、どの部分のネジなのか判別がつきにくい場合がありますのでご注意ください。

Step 1 ▶スタンドを本体に取り付ける方法

【1#本体】 に
【2#フロントスタンド】 ならびに、
【3#リアスタンド】 を取り付けます。

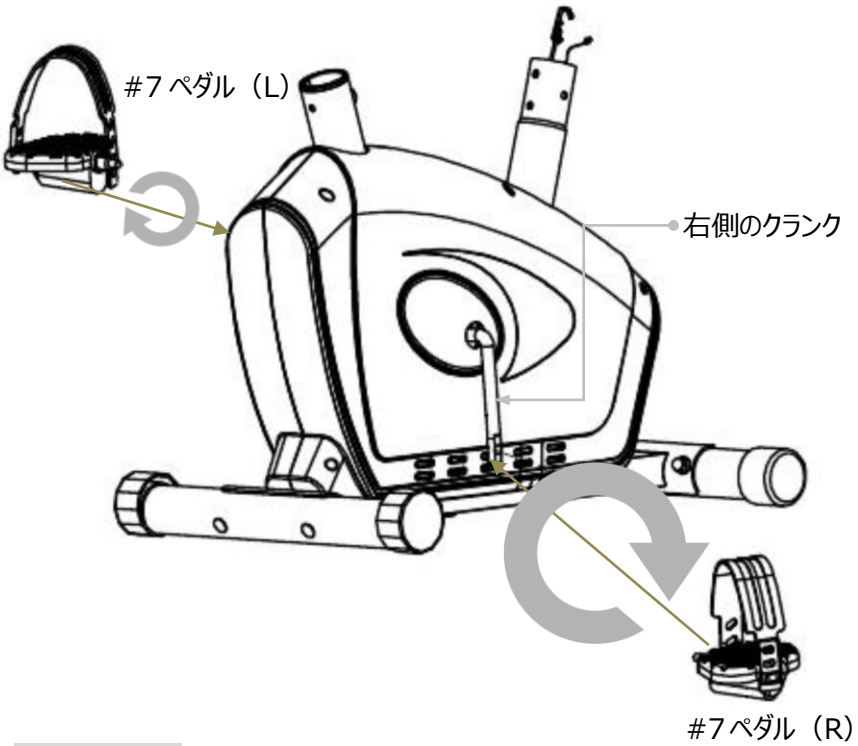
- ✓ 4#M8x74 ボルト×4
- ✓ 5#亀ワッシャ×4
- ✓ 6#M8 キャップナット×4

を使って固定してください。



Step2▶ペダルを本体に取り付ける方法

【1#本体】 のクランク部分には
【7#ペダル（L/R）】を取り付けます。



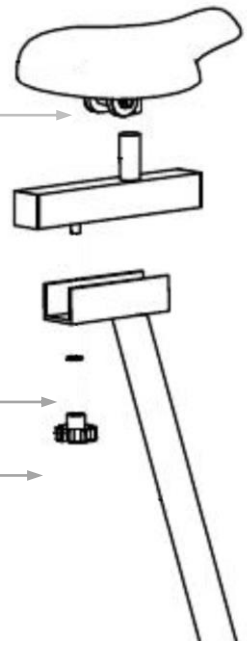
✓ 本体右側のクランクに７#ペダルの（R）を、**時計回り**に締めます。
※右クランクに反時計回りでペダルを取り付けると目地を潰してしまいますのでご注意ください。

✓ 本体左側のクランクに７#ペダルの（L）を、**反時計回り**に締めます。
※左クランクに時計回りでペダルを取り付けると目地を潰してしまいますのでご注意ください。

ワンポイント

ペダルは **増し締め**※が必要です。
※最後に強い力で締め上げていただくことで、適正に固定されます。締めが不足していると、異音の原因になりますのでご注意ください。

Step3▶サドルを本体に取り付ける方法



【8#サドル】に
【9#サドルチューブ】 を取り付けます。

ワンポイント

サドルは、付属のサンプル工具で緩めてからサドルチューブに差込み、調整後は緩めたナットを左右均等に**増し締め**してください。
（片側だけ締めても固定されません。）

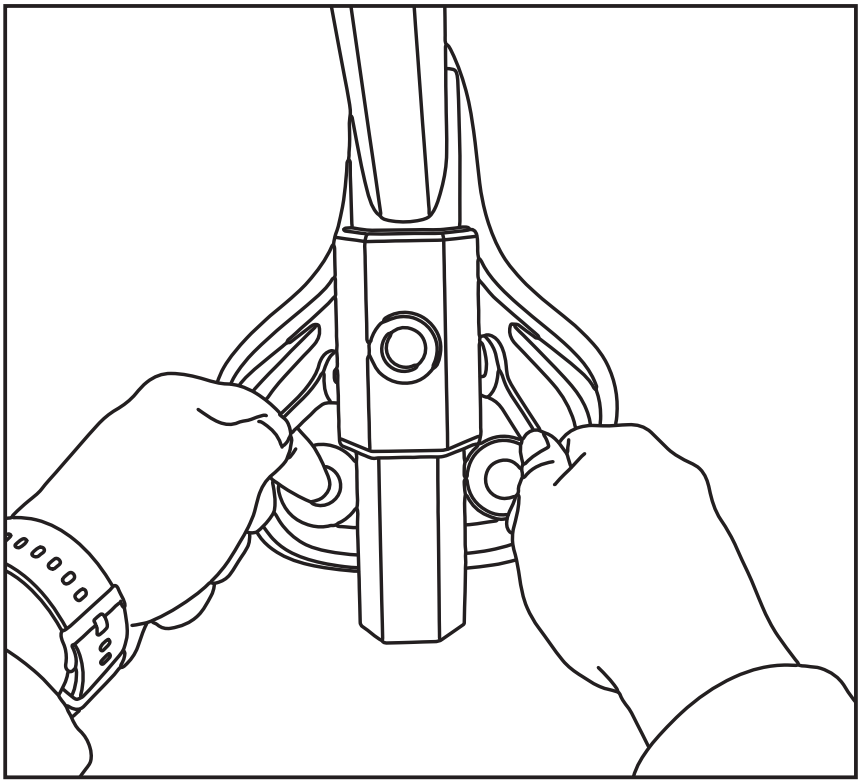
【9#サドルチューブ】 に
【10#サドルフレーム】を取り付けます。

✓ 11#平ワッシャ
✓ 12#サドル用ノブボルト
を使って固定してください。

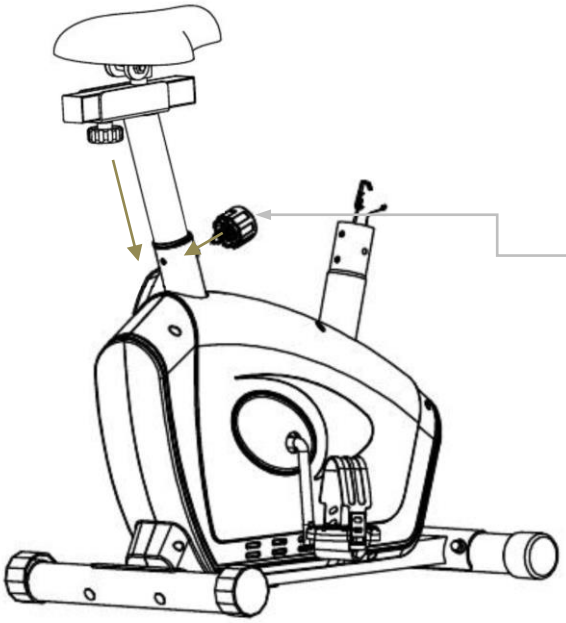
サドルの固定方法

サドルが安定しない場合はサドルが動かなくなるまでサドル裏のボルトの増し締めをしてください。
ボルトを締め込む際は、両側から均等に締める必要があります。
左右交互に締めて行くと、しっかりと固定されて行きます。

自前の工具（レンチやスパナ等）を一本ご用意して、図のように両側から交互に締めることにより、確実に固定できます。



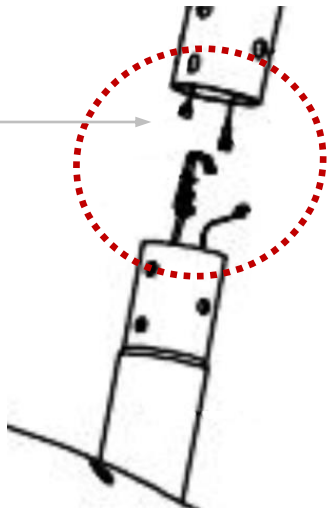
※図はサドルの土台になっているパーツ（サドルチューブ）、もしくはシートフレームごと外し裏返して作業している状態です。組み立てた状態で作業される場合は、下からのぞき込むようにして締める形になります。



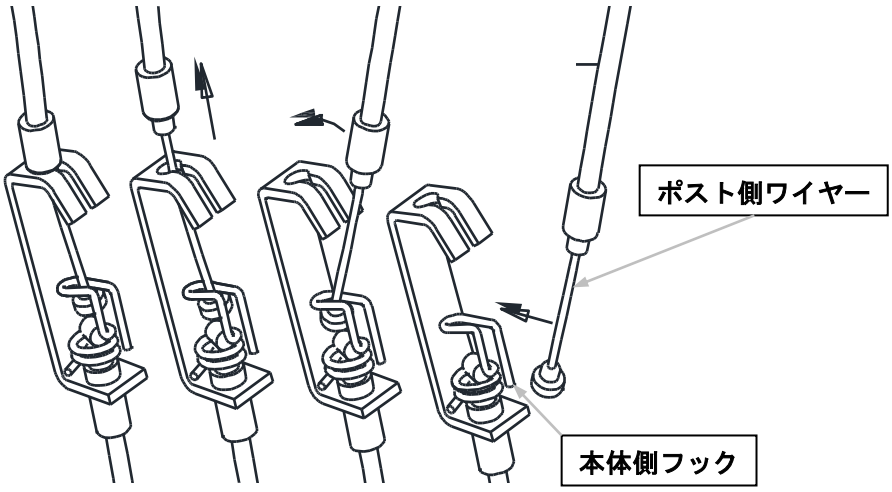
【1#本体】 に
【10#サドルフレーム】 を取り付けます。
✓ 13#大きなノブボルト
を使って固定してください。

Step4▶本体（ポスト）の配線とワイヤーをつなぐ方法

【1#本体】
【14#ポスト】
それぞれから、配線ならびにワイヤーの先端を引出します。
✓ 配線と配線
✓ ワイヤーとワイヤー※
をつなぎます。

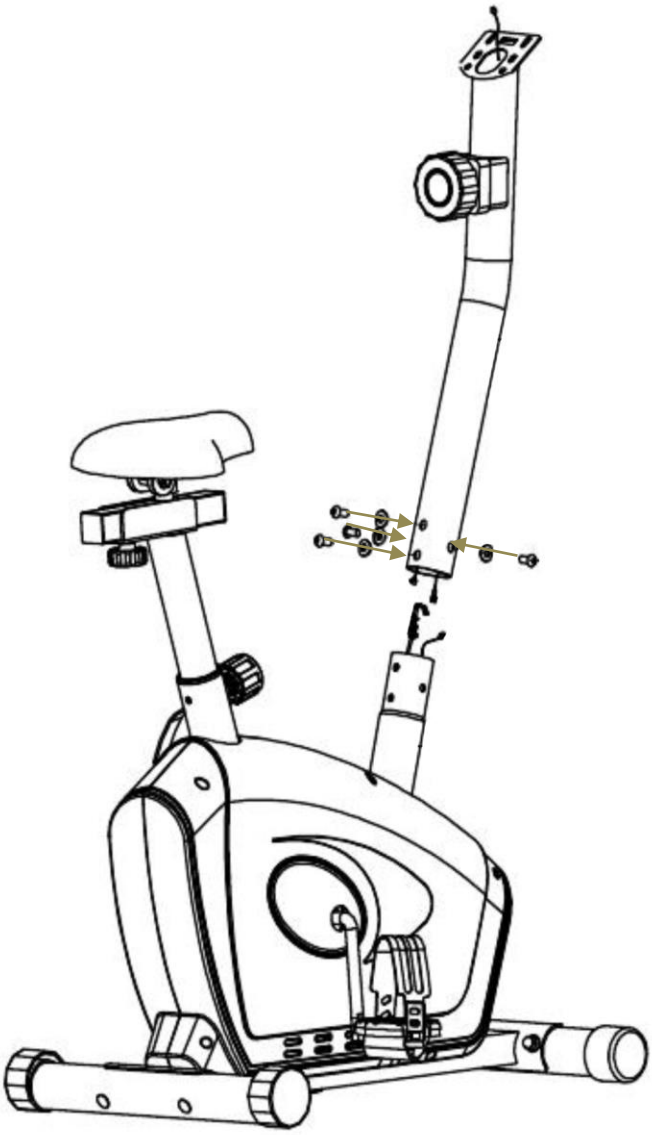


ワンポイント
ダイヤルを回し、ポスト側の一番ワイヤーが伸びた状態で
本体から出ているワイヤーのフックに掛け、そのまま強い力で
ワイヤーを引き出し※左端図４のように引っ掛けることで固定されます。



※本体内部のマグネットに巻き込まれているワイヤーを引っ張り出す作業です。
強い力で引き出しても簡単に損傷するものではありません。

Step5▶ポストを本体に取り付ける方法



【1#本体】 に
【14#ポスト】 を取り付けます。

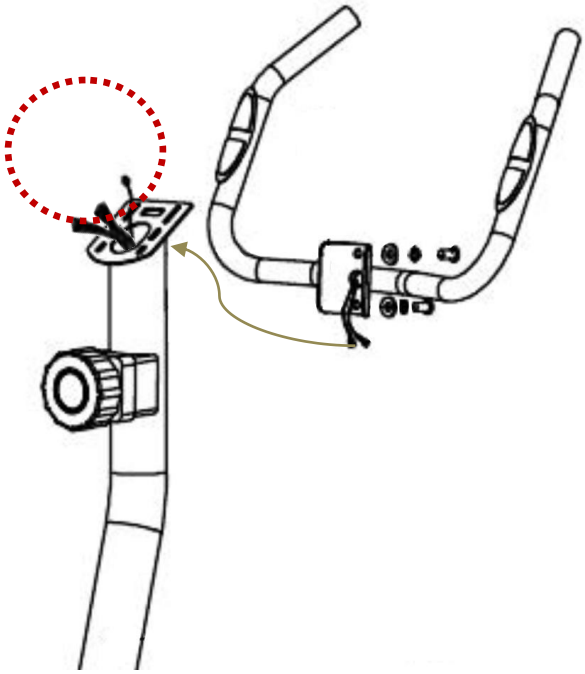
- ✓ 5#亀ワッシャ×4
- ✓ 15#M8x16 ボルト×4

を使って固定してください。

ワンポイント

ペダルを回しながら、負荷ダイヤルで LOW と示された 1 から HIGH の 8 に向かってゆっくりとギアチェンジしてみてください。軽→重　へ負荷が次第に変化していけば、ワイヤーの接続は正常です。

Step6▶ハンドルを取り付ける方法



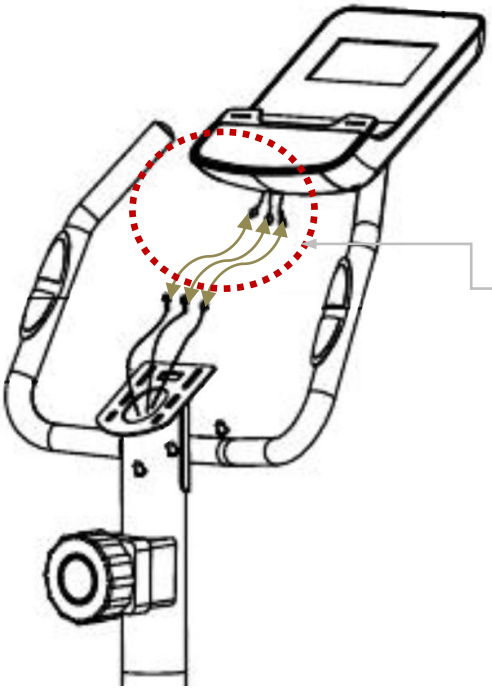
ワンポイント

【16#ハンドル】 から出ている配線を
【14#ポスト】の裏側の穴に通したうえで、
あらかじめポストの上から出しておきます。

- ✓ 5#M8 亀ワッシャ×2
- ✓ 17#スプリングワッシャ×2
- ✓ 15#M8x16 ボルト×2

を使って
【16#ハンドル】と
【14#ポスト】を固定してください。

Step7▶パネルを取り付ける方法



ワンポイント
パネルとポストの間に
配線を挟まないように十分ご注意ください。
（この作業工程で断線が散見されます）

あらかじめ、同じコネクタ同志をつなぎます。

【14#ポスト】 に
【18#パネル】 を取り付けます。

- ✓ 19#パネル用ネジ

を使って固定してください。

使用方法について

電気器具の注意事項

■パネルに指定の電池（マンガン推奨_単四*2 個）を入れると、LCD が点灯します。
■停止状態・運動状態いずれも、ボタン操作で設定レベルを増減できます。
■入力もしくは、計測が 4 分間無い場合、ディスプレイは自動的にシャットダウン状態に入ります。
■バッテリーの残量が少なくなると、パネル表示が見えにくくなります。同じタイプの電池に交換してください。

操作ボタンの説明

- ✓ モード　：パネルの表示を切り替えます。
- ✓ リセット　：各種設定を「0」にリセットします。
- ✓ セット　：時間/距離/カロリーの目標をセットします。

パネル表示の説明

- ✓ TMR　：運動時間を表示します。
- ✓ SPD　：速度を表示します。
- ✓ DST　：距離を表示します。
- ✓ CAL　：カロリーを表示します。
- ✓ ODO　：総距離を表示します。
- ✓ PULSE　：心拍数を表示（計測中は♡が点滅）します。

目標設定について

●目標（時間/距離/カロリー）の設定：

・停止状態(画面になにも表示されていない状態)でモード（ボタン）を押すと、パネルの表示が付きます。

↓

・もう一度モードボタンを押していただき TIME(時間)設定を確定しセットボタンで目標数値を入力してください。

時間/距離/カロリー設定したい項目が表示されたら、

セット（ボタン）を押すことで、任意の値※を設定できます。

↓

・ペダルを漕ぎはじめるとカウントダウンします。

↓

・目標達成すると（「0」になったときに）“音” でお知らせします。

※時間：1 分単位

※距離：0.1 キロ単位

※カロリー：1kcl 単位

製品メンテナンス

■製品の美観を保つために、汚れや汗などは中性洗剤を薄めて含ませた布で拭き、その後乾いた布等でふき取ってください。
■水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないでください。
■パネルの汚れや汗は、乾いた布で拭き取ってください。
■ペダルの緩みなど、マシン各部位のボルト類に緩みが無いか常にチェックして、正常を保ってください。

連続使用時間について

＜使用時間を守ってください！＞

本製品を末長くご使用していただくために、下記に示す使用時間を必ず守ってください。

●連続使用時間は **60 分**までです。

●次に使用するときには、先に使った時間の **倍以上** のインターバルを取ってください。

（例：30 分間使用⇒60 分間以上マシンを休ませる）

故障かなと思ったら

症状	原因	対処方法
表示パネルが作動しない	●＋－の入れ違い ●電池残量 ●配線が外れている	▶電極をご確認ください。 ▶新しい電池に入れ替えてください。 ▶各配線のつなぎ方が正しいか再確認してください。
ペダルが取り付けられない 固定されない	●左右の取付間違い ●締める方向の間違い	▶ペダルの取付方法が正しいか再確認してください。
脈拍が測れない	●配線 ●ハンドル（パルス測定できる部位）を両手で握っていない	▶各配線のつなぎ方が正しいか再確認してください。 ▶配線確認後、再度両手でしっかり握ってお試しください。
負荷が変化しない	●ワイヤーが正しくつながっていない	▶ワイヤーのつなぎ方が正しいか再確認してください。
異音がする	●ペダルの締めが不足している ●本体内部異常	▶ペダルが緩んでいないかを再確認してください。 ▶販売店・メーカーへご連絡ください。

保 証 書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品　　名	アップライトバイク（家庭用）DK-8507
保　証　期　間	ご購入日より１年間
ご　購　入　日	年　　月　　日
お　　名　　前	
ご　　住　　所	
T　　E　　L	－　　－

(1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。

(2) 保証期間内に故障した場合は、本書（もしくは当社から発送した年月日を示す証票）をご提示ください。

(3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。

- お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
- 本来の使用目的以外による故障及び損傷
- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・塩害等による故障及び損傷
- 保管上の不備による故障及び損傷
- 不当な修理、改造による故障及び損傷
- 取付場所の床面の損傷
- 本保証書の添付のないもの

(4)　使用に伴う消耗品（走行ベルト・ロープ・ペダルバンドなど）は、無償修理交換の対象になりません。

(5)　家庭用以外に使用した場合は、無償修理交換の対象になりません。

(6)　本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

(7)　保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換します。

(8)　本保証書は日本国内のみ有効です。

(9)　修理品についての運賃、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。

(10)　本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票控や購入日が証明できるもの等がある場合はその限りではありません。

(11)　出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

開発販売保守　大広株式会社
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-41-4　2F
TEL：03-5652-5056　/FAX：03-5652-5078
受付時間　（平日 AM10:00~12:00
PM1:00~05:00）土・日・祝日休

フリーダイヤル：0120-25-1622

＊携帯電話、ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。

受付時間：平日午前 10～12 時ならびに午後 1～5 時まで